



## 1 災害時における化学物質対策

〈やまのは議員〉

想定されていない巨大地震が発生したときの有害な化学物質の流出や、それに伴う健康影響についてどのような認識なのかを環境農林水産部長にお伺いします。

〈環境農林水産部長〉

有害な化学物質が大量に流出すれば、周辺住民の健康に影響を及ぼし、環境中に残留すると長年にわたり人の健康にも影響が及びます。流出しないよう未然に防止し、最小限に留めることは非常に重要な課題であり、早急な対応策をとるべきであると認識しています。

## 2 おおさか農政アクションプラン

〈やまのは議員〉

府で実施した実態調査の結果を踏まえ、大阪農業の現状をどのように認識し、それに対し、今年度末策定予定の「おおさか農政アクションプラン」では、どのように取り組んでいく考えなのかを環境農林水産部長にお伺いします。

〈環境農林水産部長〉

将来、担い手不足が深刻になるとの強い危機感を持っています。この状況を踏まえ、専業農家や新規参入者など対象となる層を定めて各々目標を定め、今後5年間の取り組むべき施策を検討しました。具体的には、ブランド力のさらなる向上や農外からの参入促進を一層進め、専業農家の育成・確保に努めていくとともに、都市住民が農業を始めることができるよう、今年度、新たに創設した準農家制度を推進するなどにより、大阪農業の振興を図り、約1千億円と言われる多様な公益的機能を有する農空間の保全に努めてまいります。

<やまのは議員>

今後、地域の農業振興や農地を守っていくには、都市住民の力を今以上に積極的に活用すべきですが、環境農林水産部長の考えをお伺いします。

<環境農林水産部長>

今後も、ため池・水路などを保全活用する「オアシス環境コミュニティ」など都市住民との協働で農業や農空間を守っていく活動をさらに進め、市町村、関係団体と連携を密にして取組みを積極的に誘導・支援してまいります。

### 3 統合型リゾート I R

<やまのは議員>

統合型リゾートが大阪発展の核となるよう、早期の法制化を国に働きかけることを含め、大阪の I R 立地実現に向けて知事の決意をお伺いします。

<松井知事>

I R は、内外からヒト・モノ・カネを呼び込み、大阪を力強く成長させることに大きく寄与するものと認識しています。その実現には、国における法制化などが前提となりますが、私としても法制化に向け、あらゆる機会をとらえて国に働きかけるとともに、法案が成立すれば大阪への I R 立地にすぐにも手を挙げられるよう、しっかりと準備を進めてまいります。

### 4 都市計画道路八尾富田林線の整備

<やまのは議員>

今でも羽曳野市域では、南阪奈道路にアクセスしている幹線道路が少なく、機能が十分活かされていません。市域全体の活性化を考えると、八尾富田林線などの幹線道路の整備が重要と考えます。都市整備中期計画（案）では、八尾富田林線の南阪奈道路を挟む約 1.9km 区間が事業個所として位置づけられていますが、このうち、南阪奈道路より北側約 1.5km 間の整備見通しについて都市整備部長にお伺いします。



〈都市整備部長〉

本路線約1.5km区間のうち、北側約0.5km区間については、市道への取付け部や舗装工事など仕上げ工事を残すのみであり、平成24年度末の供用を予定しています。南側約1km区間についても引き続き事業を推進してまいります。

## 5 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録

〈やまのは議員〉

早期登録を実現するに当たり、現在の取組み状況について府民文化部長にお伺いします。

〈府民文化部長〉

昨年5月、世界文化遺産登録を目指し、知事をトップとした推進本部会議を設立して取り組んでいます。今年1月、国際専門家会議と国際シンポジウムを開催し、学術的価値や魅力について議論し、多くの参加者の理解を得ました。また、御堂筋k a p p oや大阪マラソンを活用して古墳群の魅力をPRするなど、登録に向けた情報発信や機運醸成にも取り組んでまいります。

〈やまのは議員〉

地域の様々なイベントとコラボレーションを行い、世界文化遺産登録の機運を盛り上げる取組みについて府民文化部長にお伺いします。

〈府民文化部長〉

地域での祭りや物産展、街歩きやスポーツイベントなど、多くの方々が集まる場や機会を捉えて百舌鳥・古市古墳群の魅力発信に力を入れていきます。また、推進本部会議において、今後、世界文化遺産登録に向けた広告やイベント、ワークショップなどの企画・提案を広く募り、より広範囲に効果的に機運が盛り上がるよう取り組んでまいります。

〈やまのは議員〉

古墳という資産を活かした街の魅力づくりにどのように取り組んでいくのかを府民文化部長にお伺いします。

〈府民文化部長〉

百舌鳥古墳群と古市古墳群の両方を巡ることのできる統一多言語ガイドマップを作成し、地域の歴史・文化・観光資源を盛り込むなど、街の魅力を体験できるよう地元市と取り組んでまいります。また、大阪ミュージアム構想のもと、スマートフォンで楽しむことのできるアプリケーション活用により古墳群を含む南河内の魅力を発信し、今後、民間の参画する協議組織を設置して周遊ルートの設定などについて検討してまいります。